




評価機関による評価


令和2年2月20日



事業所名 保育園コスモス


 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重


評価分類	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念を「子どもの最善の利益を考慮し、子ども一人ひとりが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力を培う」とし、保育方針を「健康や安全・情緒の安定した環境を用意するとともに、人との関わりの中で自己発揮ができるよう家庭や地域との連携を図り、きめ細やかな保護・援助を行っていく」として、子ども本人を尊重して保育を行っています。 ・全体的な計画は、法人理念と保育方針に園目標の「心身ともに健康で主体性のある子ども」「思いやりがあり友達と楽しく遊ぶ子ども」「花や野菜づくりを通じて、命を大切に作る気持ちを育てる」を加え、0～5歳児の子どもたちの利益を最優先に考えながら作成しています。 ・園長は保護者に対し、年度初め（5月）のクラス懇談会で当年度の保育の内容に関する全体的な計画を説明しています。 ・各クラス担任は全体的な計画に基づき、クラス担当職員と意見交換しながら年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成しています。0～2歳児について個別指導計画を作成しています。 ・子どもたちの意見、要望を聞きながら、保育計画に反映させ、保育を行っています。言葉を話せない0歳児クラスでは、表情・態度から判断して子どもたちの好きな遊びを察知し、保育計画に組み入れています。 ・子どもたちの興味、関心の深いことを把握し、カリキュラムに取り込み、子どもたちの主体性を第一にして、柔軟性を持たせた保育を実践しています。
I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に園長、主任による保護者の個人面談を子ども同伴で来園を要請し、子どもの遊ぶ様子も観察しています。アレルギー疾患児の場合は、担任や調理士も面接に参加しています。 ・入園前の面接では、保護者から提出された、①園児台帳（児童票）、②健康台帳、③引き渡し調査票をもとに話し合い、面接内容は「園児台帳」に記録しています。「健康台帳」には、子どもの入園までの生育歴を記入してもらっています。 ・慣らし保育は保護者に必要性を十分に説明し、最初は保育時間を短く設定し、だんだん長くして園に慣れるようにしています。子どもの状況、保護者の就業状況なども勘案し、2週間（10日間）ぐらいで慣らし保育を終了します。 ・子ども一人一人の記録担当保育士を決めており、3か月周期で担当替えをしています。その間、子どもが慣れるまでは、担当保育士は固定化しています。 ・子どもの心理的拠り所とするものは、清潔であること、安全であることを前提に受け入れています。 ・0、1歳児は個別連絡ノートで、詳細に昼間の子ども様子を記載し、2～5歳児は、「シール帳」を利用し、保護者とのやり取りを行っています。 ・0～2歳児について個別指導計画を作成し、毎月発達状況を記録しています。3～5歳児についてはクラスごとの月間指導計画を作成し、3か月ごとに子ども一人一人の発達状況を記録しています。 ・各指導計画について担任保育士は、必ず期間ごとの振り返りを行い、この内容に沿って計画の見直しを行い、主任、園長のチェックを受けて、保育内容を修



	<p>正しています。また、0～2歳児の乳児クラスケース会議と3～5歳児の幼児クラスケース会議があり、指導計画の見直しについて検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見・要望は、保護者会での意見、行事後のアンケートや毎日の送迎時の会話で把握した内容を日誌に記録し、指導計画に反映させています。 ・0歳児は、子どもの表情や発する喃語を聞いて、保育士も同じような喃語を出して子どもと関わり、やり取りする中で、抱っこなどの要望を判断しています。一人一人の子どもと視線を合わせ、声かけをし、スキンシップを通じて、子どもの欲求を満たすようにしています。畳敷きのほふくコーナーを設けており、安全にハイハイが十分できるようにし、型はめおもちゃや0歳児用の絵本などを手に取れるところに置いて、子どもたちの好奇心が満たされるように配慮しています。 ・1、2歳児は、時間がかかっても自分でやろうとする気持ちを大切に見守り、子どもの思いに寄り添って言葉をかけるようにしています。朝の受け入れ時は、保護者からの子どもの状況報告に加えて、子どもの顔色や機嫌などを注意深く観察し、プログラムもその子の状況に合わせて対応しています。 ・安全性を考慮してゴムチップを敷き詰めた園庭では、マットとプラスチック滑り台を組み合わせたり、平均台、跳び箱、鉄棒なども用意して子どもたちが全身を使って遊べるようにしています。また、散歩では子どもたちの発育に合わせて、高低差のある広い公園や大型遊具のある公園などを選択して利用しています。 ・3歳児はかけっこ、縄跳びの潜り抜けなどの集団運動を取り入れています。何人かの子どもは、仲間の運動を支援する縄回し役を進んで行っています。 ・4歳児は集団遊びの種類について、「氷鬼をやろう！」や、「だるまさんが転んだがいい！」など、主張するようになってきます。 ・5歳児では鬼ごっこなどの集団遊びの中で、多くのメンバーが嫌う鬼役などを進んで買って出て、遊びの仲間を思いやり、盛り上げようとする子どもが出てきています。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10の姿を目標としてではなく念頭に置いて、また、小学校教育の前倒しにならぬように配慮して、全体的な計画を策定し保育を進めています。
<p>I - 3 快適な施設環境の確保 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園では環境整備専門の職員を入れ、園内外の清掃を担当保育士ともども定期的に行い、常に清潔を保っています。換気については可能な限り窓開けを実行し、保育室内の空気の入替えを行っています。 ・保育室の温・湿度の調整は、エアコン設定に加えて、職員が自らの体感や子どもたちの様子を見てこまめに行っています。湿度については、冬季は加湿器を稼働させ調整しています。陽光については南側の大きなガラス戸を通して、十分な採光を取り入れています。 ・和太鼓プログラムを保育に取り入れています。演奏では防音マットを使用して、近隣への影響を最小限となるように配慮して行っています。 ・園では沐浴設備を完備し、0歳児保育に生かしています。また、温水シャワー設備を設け、オムツ交換時の洗浄や運動後の汗流しなどに使用しています。 ・低年齢児では、マットを敷き、ママゴトセットを常設してコーナーを作り、子どもたちが小集団で落ち着いて遊べるように配慮・工夫しています。 ・保育室の広さの制限があり、食べる、寝るの空間を分けることはできませんが、食事をとった後の床は、希釈した消毒液による拭き掃除などを徹底し、衛生面、清潔面に十分配慮して、午睡のスペースを確保しています。また、おむつ替えにはトイレ側に指定エリアを設けて、清潔の保持に努めています。 ・保育室内で各年齢のプログラムが切り替わるごとに異年齢入り混じっての自由遊びの形が生まれています。




<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児について個別指導計画を作成し、子ども一人一人の発達に合わせて保育に当たっています。 ・3歳児以上はクラス単位の指導計画で運営されますが、特に配慮を要する子どもについては、個別指導計画を作成し、対応しています。 ・クラスリーダーは関係する複数の職員から意見を求め、子どもの発達や家庭の状況の変化に応じて指導計画を見直し、柔軟に変更・見直しをしています。 ・指導計画の中での内容を保護者には機会あるごとに、「今はこれがんばっていますよ」などと伝えています。 ・卒園予定児については子どもの生育記録を「保育所児童保育要録」にまとめ、小学校に送付しています。 ・入園時に保護者から提出を受けている、①園児台帳（児童票）②健康台帳③引き渡し調査票などの子どもや家庭の個別状況情報に加え、子どもの発達状況などをクラス別個別指導計画に記録しています。 ・個人記録はパソコン上で記録して、職員全員で共有しています。また、保育メモを活用して、保育士全員がいつでも確認できるようにしています。 ・保育上重要事項についての情報は、子どもの進級の際、及び転園先に必ず伝達しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園では配慮を要する子どもの受け入れに関しては、積極的に対応し、現在も数名の受け入れ実績があります。 ・保育の最新情報については、厚木市の療育相談センター「豆の木」から講師を招いて、園内研修を行っています。また、外部研修を受講した職員は、園内部での研修会を開催し、講師役を務め、最新の知識を共有しています。 ・現在図書コーナーを利用して、障がい児用の保育スペースを作って対応しています。保護者とは話し合って合意の上、厚木市療育相談センターなどの専門機関の支援も受けて保育に当たっています。まだ、認定を受けていない子どもについても、障がい児用の個別支援フォーマットを利用して指導計画を策定し、様子を見ながら進めています。 ・障がい児保育に関しては、乳児ケース会議や幼児ケース会議を行い、支援方法について話し合い、記録に残して職員間で共有し、個別指導計画に反映し、実践しています。障がい児一人一人について個別の支援が必要なケースでは個別の支援を行います。一般的な運動などでは、健常児と区別せずに一緒に保育を進めています。 ・虐待については厚木市などの外部研修を職員一人一人が受けるようにしており、全職員は、虐待の定義、予兆発見などについて十分な知識を持って保育に当たっています。研修を受けた職員からのアイデアで、園では「虐待予防チェックシート」を作成し、子どもへの虐待の早期発見に努めています。 ・保護者への声かけを励行し、相談に乗れるような関係づくりをし、予兆発見に努めています。 ・アレルギーに関して医師からの指示書の提出を受け、除去食の対応をします。 ・全職員は厚木市のアレルギー関連研修を受けて、研修報告書を提出し、職員会議などで内容を発表し、情報・知識を共有しています。 ・アレルギーを持つ子どもが在籍する場合には、保護者と給食提供者「ほぼ社」と連携の上、除去食を提供できる体制にあります。保護者には毎年かかりつけ医への受診をお願いし、定期的に担任、主任、園長と「ほぼ社栄養士」と面談を行い、保護者と連携して対応するようにしています。 ・現在の在籍児には宗教上の制限はなく、他の子と同じ普通食を取っており、「特別な配慮をしない」という考え方で接しています。保護者との意思の疎通に関しては、ひらがな、英単語で表示した「入園のしおり」を作成し、簡単な英語、イラスト、写真、筆談などで対応し、また、家族に中学生で日本語の堪能な兄がおり、通訳を買って出てくれています。


<p>I - 6 苦情解決体制 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付窓口は園長、主任がこれに当たり、「重要事項説明書」「入園のしおり」などで保護者に説明しています。 ・第三者委員や苦情窓口を玄関の壁に表示し、また、意見箱や行事後のアンケート、保護者懇談会などで保護者意見を収集し、保育に生かしています。設置法人の苦情受付部署の電話番号や公的機関の受付窓口なども掲示で紹介しています。 ・意見の表明が難しい、苦手な保護者、子どもについては、職員から積極的な声かけをし、意思の把握に努めています。 ・第三者委員は、民生委員 1 名、厚木市人権擁護委員 1 名の 2 名がこれにあたり、玄関先に連絡方法を掲示し、苦情に対応する仕組みがあります。 ・相談・苦情があれば必ず職員会議で全職員に周知し、解決策を相談して進めることにしています。園では「ヒヤリハット事例検討集」「保護者からの要望集」を作成して、全職員に周知しています。
---	---

評価領域Ⅱ 保育の実施内容


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ - 1 保育内容[遊び] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室は、子どもが好きな玩具を自分で取りだして遊んだり、自ら片づけられるよう環境を設定しています。乳児クラスでは職員が子どもの興味・関心を把握しておもちゃを複数選んだ中から子ども自分で選んで遊べるようにしています。子どもが入って遊べる大型の箱を用意し、一人で安全に遊べる場所を工夫しています。1、2 歳児保育室には、ままごと・電車・ブロック・絵本、装飾された段ボールで分けたコーナーなどがあります。3～5 歳児クラスでは、絵本や図鑑、ぬいぐるみ・ままごとセット・大きなブロックなどの遊び道具を棚に置いています。 ・1 歳児から、朝、何をしたいのか子どもから意見を聞いて、子どもの意向を遊びに取り入れています。絵本から秘密基地を作りたいと意見が出たり忍者ごっこに発展するなど、子どもの発想が集団活動に繋がり、職員は見守ったり援助しています。 ・大型遊具の使い方や鬼ごっこなどの遊びの中で、ルールを守ることの大切さを伝えています。子どもたちが自発的に変えたルールをグループのルールとして守りながら楽しんでいきます。 ・遊びが見つからない子どもには、職員が興味のあるような遊びに誘ったり見守ったりしながら、一人遊びや集団遊びに繋がるよう声かけをしています。 ・近隣の畑を借りて、ミニトマト・キュウリ・ピーマン・ブロッコリー・大根・白菜などを育てています。子どもたちは、水やりや収穫をし、調理室で調理してもらい、給食で食べています。 ・子どもたちは、図鑑で得た知識を基にザリガニ捕獲作戦を立ててザリガニ釣りをし、捕獲したザリガニに餌をあげたり、脱皮の様子を観察しています。 ・天候が許せば毎日、散歩に出かけています。自然に恵まれた環境を生かし、牛小屋で牛を見たり雑木林で朽ち木を拾うなどの園外活動を積極的に取り入れています。 ・子どもが自由に表現できるように、楽器や折り紙や様々な素材の紙、新聞紙や空き箱、毛糸、牛乳の空きパック、散歩で集めたどんぐり、小枝などを用意しています。マーカーや色鉛筆、写し絵も用意し、絵を描いたり制作がしやすいように机を用意しています。 ・子ども同士のケンカは、双方の子どもが納得し、出来るだけ自分たちで解決できるように援助しています。言葉で解決するのが難しい時には職員が間に入って代弁しています。 ・保育室はワンフロアで、3～5 歳は同じ保育室で過ごしており、異年齢と一緒に遊ぶ姿や年長児の真似をして遊ぶ姿が見られます。園庭では、異年齢の子どもが譲り合ったり子ども同士が声をかけあって遊んでいます。


	<ul style="list-style-type: none"> ・広場や坂道のある散歩コースなど、子どもの興味や関心により散歩コースを変えています。体調不良の子どもは散歩を控え、主任、副主任が部屋で見守っています。
<p>Ⅱ－１ 保育内容[生活] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は、子ども一人一人が食べられる量を把握して、食が細い子どもの量は盛り付けの時少なめにし、また、配膳後にどのくらい食べられるかを聞き、完食できた達成感が持てるよう工夫しています。苦手なものも少しでも食べられるように、また、食べず嫌いをなくすよう、声かけしています。 ・調理室は保育室の中央にあり、調理する音やにおいを感じることができ、子どもたちが畑で栽培した野菜を園に持ち帰って調理してもらっています。 ・子どもの発達に応じて、テーブル付きの椅子や体に合った椅子を用意しています。離乳食は、2、3人の子どもに1人の職員がつき、子どものペースに合わせて援助しています。ご飯やおかずをスプーンに一口のせて、自分で食べるのを見守ったり食べさせています。 ・調理師が残食状況を把握して、残さず食べてもらえるように調理の工夫をしています。毎月、園長、園長補佐、主任、副主任、調理師で給食会議を開催し、畑で収穫できる旬の野菜や、新メニューの紹介をしています。食が細い子どもへの対応などは、会議まで持ち越すことなく、日常的に担任などと対応について話をしています。 ・保護者対象に食育講座を2年に1回程度開催し、園のメニューを紹介しています。クラス懇談会開催時にその日の子どものメニューの試食を提供し、意見を聞いています。 ・職員は、睡眠には個人差があり、すぐに入眠する子どもや入眠に時間がかかる子どもがいることを把握し、一斉に寝かしつけは行っていません。乳幼児突然死症候群（SIDS）に対する対策として、0歳児は5分毎、1歳は10分毎に、呼吸と寝ている向きを確認しています。0歳児には、午睡センサーを装着し、職員の目視と共にチェックを強化しています。 ・排泄は、一人一人発達段階とタイミングを把握して声かけ・誘導を行っています。トイレトレーニングは、一人一人の子どもの発達の様子を見て、保護者と連携しながらそれぞれの子どもの時期を考えて進めています。 ・おもらした子どもは、さりげなくトイレに誘い、着替えをし、職員は、子どもたちに丁寧に接していて、叱ったりしないことを共通認識しています。 ・保育室を工夫してコーナーを設けたり、保育室の一角にある図書室の空間にパーテーションや椅子やテーブルを置き、くつろげる場所を作っています。疲れが見られたり眠くなった幼児は、乳児室で休めるよう配慮しています。 ・保護者出入り口のホワイトボードに、その日の活動内容を記載するほか、職員用伝達記録「保育メモ」を活用し、伝達漏れのないよう、口頭で保護者に伝えていきます。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜を育てる中で野菜への愛着や収穫の喜びを実感し、食への関心を養うことを目的として「ファームコスモススケジュール」を作成し、子どもたちが畑で育てた白菜を使った「白菜のスープ」を調理師にリクエストするなど、畑で育った野菜を身近に感じています。収穫した野菜で切り干し大根やポテトチップスを作ったり、絵画教室で描いたりしています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に関する管理マニュアルがあり、家庭での様子を聞いたり職員が観察したりして、子どもの状態を把握しています。 ・発熱など体調に変化があった時には保護者に電話連絡をし、状態に応じてお迎えをお願いするなど、対応を相談しています。体調不良についてはお迎え時に保護者に伝え、家庭での過ごし方について話し合っています。 ・0歳児から歯磨き指導を行い、子どもが磨いた後は職員が仕上げ磨きを行っています。子ども対象に歯科医から歯磨き指導をしてもらい、食後の歯磨きを通して正しい歯磨きの仕方が身に着くようにしています。 ・嘱託医から、近隣で流行している感染症の情報を得て対応方法の情報をもらっ

	<p>ています。保育中に感染症の発症や体調に異変がみられた時には速やかに保護者に連絡し、保護者の都合や通勤時間なども考慮して、お迎えまで医務室で待つようにしています。園内で感染症が発生した時には、病名や人数、症状を玄関に掲示するほか、口頭で保護者に伝えています。ほけんだよりで、季節に発症しやすい感染症情報を保護者に伝えています。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理研修を受講した職員が園内研修で職員に情報を伝えるなど、研修内容を共有していますが、定期的な研修は実施していません。感染症が多発する季節の前には、職員会議で対処法などの研修を行っています。 マニュアルに基づき保育所内の清掃は行われており、清掃記録があります。環境整備担当職員が専任で清掃業務を担い、園内の清潔を保っています。12月には、子どもたちも一緒に大掃除を行っています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理に関するマニュアルは休憩室に常備し共有化を図っていますが、定期的な読み合わせや見直しなどは行っていません。マニュアルは、職員参画のもと定期的に見直し、改変事項があるかを確認することが望まれます。さらに、内容を全職員に徹底するために研修等の具体策を講じることが望まれます。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 安全管理 [安全管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理に関するマニュアル、「保育園における食事提供のガイドライン」「水泳中の事故防止について」があります。プールや水遊びの時は、監視役の職員を配置しています。 地震対策として、棚などには転倒防止素材の滑り止めを置き、家具上部には転倒防止金具を設置し、本棚は壁に取り付けています。重いものを棚の上に置かない、棚に置いた太鼓などは紐で固定するなど、安全策を徹底しています。 防災訓練、洪水時の避難確保計画、地震対応等のマニュアルを整備し、職員に配付するほか事務所に常備しています。 地域の医療機関を含む緊急連絡先一覧を作成するほか、保護者へは緊急時一斉メールができる体制をとっています。職員連絡網を整備しています。 避難（防災防犯）訓練計画書を作成し、消防署通報訓練、避難場所への訓練も含め、毎月避難訓練を行っています。避難場所の毛利台小学校は散歩コースとして、職員や子どもに場所を周知しています。 不審者対応マニュアルがあり、侵入者への対応手順を決めています。不審者が侵入した時には警備会社に通報するシステムを導入しています。散歩のときも携帯電話で警備会社につながるシステムになっています。厚木市子ども未来部保育課からの不審者情報は、玄関に貼り出しています。
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重 </p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育室はワンルームで、不適切な言動があったときは職員相互で注意できる環境にあり、園長・主任は保育に入り、気になることは職員と話し合っています。 職員は、優しく年齢や発達に応じ、分かりやすい言葉遣いで声をかけ、感情的にならず必要以上に大きな声を出さないことなどを共有しています。 子どもの良いところを褒めて接することを大切にしています。子どもにしたい活動を聞いたり、どのようにしたいかを問いかける言葉かけを行っています。 園長が人権に関する記事を集めて職員に回覧し、職員が子どもの人格を尊重した保育に取り組むよう話しています。クラスの様子を把握するために、園長・主任が保育に入り、子どもの人権に関して職員の意思統一を図っています。 保育室はワンルームで、一人で落ち着いてゆっくり過ごせる環境の設定は難しい状況にありますが、図書室の友達から見えにくい一角に収納してあるテーブルの陰などが、落ち着いて過ごせる場所として利用できます。医務室にソファを置き、一人で過ごせる場所としています。1対1で話す必要がある時には、医務室を利用しています。 「保育従事者の心得」で守秘義務について周知しています。ボランティアや実習生の受け入れ時にも、個人情報漏らさないなどを含め、同様の説明と対応をしています。個人情報の取り扱いや守秘義務について明示した個人情報保護方針を策定しています。 ホームページやおたより等への写真掲載については保護者に説明し、入園時に




	<p>「写真掲載同意書」を提出してもらっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童台帳は医務室に施錠して保管し、パソコンはパスワードをつけ、長期休暇の際は金庫で保管するなど、個人情報の流失がないよう留意しています。 ・遊びの中で役割を性別で分け隔てせず、子どもはしたいことをしています。ごっこ遊びの中で男の子がスカートをはいたりするのを見守っています。運動会の衣装の色も好きなものを選べるようにしています。名簿や整列するときは誕生日順で、順番、グループ分けなどは性別にしています。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の終了後には必ず保護者アンケートを取り、行事に対する保護者意見を収集するほか、園運営に関しても意見をもらっています。出された意見から、保育方針などに関する保護者理解度などを判断しています。 ・園の方針に基づいた保育の展開については、毎日その日の活動の様子を掲示しているホワイトボードや日々の連絡帳で伝える努力をしています。 ・保護者には、登降園時に、子どもの活動の様子を口頭で伝えています。けがをした場合は必ず話をしてしています。全クラスに連絡帳があり、0～2歳児は毎日記載して保護者との情報交換をしています。3歳児以上は必要に応じて使用しています。 ・毎年5月頃にクラス懇談会を実施し、園の方針及びクラス目標、担任紹介、クラスの様子を伝えています。各クラスの懇談会の記録は残し、出席できなかった保護者にも配付するほか口頭でも伝えています。懇談会で「保育園コスモス保育計画書」を保護者に配付しています。保育のねらいと行事、開催日、保護者参加の有無を伝え、保護者が休暇の予定を立てやすいよう配慮しています。 ・クラスごとに個別面談を実施しています。そのほか、相談は随時受付、別室の職員休憩室を利用して行っています。担任が受けた相談は、内容によって、主任や園長が適切な助言をしたり、一緒に相談を受けるなどの体制があります。 ・「えんだより」を毎月発行し、行事や行事の内容の紹介などを載せています。「ほけんだより」を年4回発行し、感染症や熱中症予防の注意などを載せて保護者に伝えています。ホームページにも、「えんだより」、「こんだて」、「ほけんだより」を掲載しています。生活発表会で、クラスごとに草むしりから収穫までの畑での取り組みの様子など、1年間の活動の様子を動画で伝えています。ミニ運動会の様子をビデオに撮って紹介しています。 ・6月に保育参観日を設けて、親子で触れ合える遊びなどを取り入れています。 ・保護者有志から運動会での後片付けの申し出があり、また、保護者送迎用駐車場の草刈りを保護者有志が自発的に行っており、手の空いている職員も一緒に手伝ったりしています。保護者同士のつながりが増えるよう、行事設営、準備、後の片付けなどへの自主的な参加をお願いしています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流を積極的に行い、公園で出会う親子との会話や自治会の祭りに子どもたちが参加する中で、地域ニーズの把握に努めています。 ・「コスモスひろば年間計画」を作成し、アスレチック遊びや色水遊びを計画しています。毎週水曜日に「コスモスひろば」を開催し、園庭開放や育児相談の機会を設けています。「コスモスひろば」で、毎週水曜日に子育て相談を実施し、子育てニーズの把握に努めています。 ・「コスモスひろば年間計画」作成時に、地域の子育て支援ニーズについて職員の意見を聞いたり、会議や日常の中で話し合っています。 ・11月に、愛名老人憩いの家で、子育て世帯対象に外部講師による親子パペットふれあい講座を実施し、職員も参加しました。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園情報や育児相談の情報は、園舎のあるマンションエレベーター入り口に掲示し、住民に知らせています。ホームページにも掲載しています。 ・毎週水曜日に実施する「コスモスひろば」で子育て相談を実施し、主任が相談



	<p>にのる中で、保護者の悩みや不安を聞き取っています。ホームページやマンションの掲示板を通して、子育て支援情報の提供に努めています。行政関連、療育相談センター、児童発達支援センター、警察、保育園、小学校、病院、自治会など、関係機関や地域の団体の連絡先を、ファイルにまとめて事務所で管理しています。関係機関との連携は主に主任としています。療育相談センターや児童発達支援センターとは、必要に応じて情報交換や連携を取っています。</p>
---	--

評価領域Ⅳ 開かれた運営




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園ではキャンドル作りの行事を企画し、地域の親子を募集するポスターを貼りだし、地域の子育てに貢献しています。自治会（町内会）の夏祭りや、地域民生委員が主催する異世代交流会、地域高校、大学から参加するボランティアとの交流など多面的な地域内の交流関係が出来上がっています。 ・小学校生活科の町探検や中学校、高校の職場体験、大学の実習受け入れなど、学校関係との連携も積極的に行っています。 ・行事の前には必ず近隣に対してお便りを配布し、行事への理解を求めています。また、地域の共同施設などの清掃にも協力しています。 ・近隣の老人憩いの家ではリトミックを行うために場所を借りており、厚木市の青少年広場では運動にグラウンドを借りています。 ・地域の方から借り受けた畑で子どもたちは種まき、水やり、収穫を経験し、出来上がった野菜類の料理（豚汁など）を、子どもたちが地域の方と一緒に頂くような関係を築いています。 ・園では地域他保育園との交流のほかに、福祉施設への慰問訪問や障がい者施設との交流も行っています。
<p>Ⅳ－２ 保育所における福祉サービスに関する情報提供 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは随時更新し、最新情報を発信しています。また、行事などの案内は園外部の掲示板に貼りだしています。厚木市西高校吹奏楽部のパンフレットに広告料を払って、園情報を広告しています。保育園の詳細情報は厚木市の子育てガイドや、園の保育のしおり、ホームページに掲載しています。 ・見学者など入園希望者に対しては、パンフレットなどで園の内容を説明しています。利用希望者が電話で問い合わせたときには、予約の上、見学を勧めています。見学申し込みを受けた場合は、見学者にとって一番効率よく園生活を見ることのできる午前中の 10 時頃の時間帯を提案しますが、急な飛び込みにも対応しています。
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れマニュアルに基づいて、受け入れに際しては園のしおりなどを説明し、オリエンテーションを行っています。ボランティア受け入れの目的、効果などは「園だより」を通じて保護者にも理解を求め、職員にも職員会議などで趣旨を説明しています。終了後の感想は必ず提出してもらいます。 ・実習生受け入れマニュアルに基づいて、実習生受け入れに際し、園長は個人情報の保護などについて、オリエンテーションを行っています。受け入れに関しては、主任が責任者となり、内容の記録を整備しています。学校からの希望の部分実習や責任実習に沿って、園で対応実習プログラムを作り上げ、対応しています。その日の担当者との意見交換の時間を取って、振り返りや質疑応答などを行い、反省・課題を次に生かせるような機会を設けています。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅴ－１ 職員の人材育成 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園では通常時より余裕職員数で保育を行っており、フリー人員を多くして、急な欠員などに備えて運営しています。事務担当者も保育士資格を有しており、何時でも保育現場に入ることができます。 ・園ではキャリアパスに則した研修計画を策定しており、該当する職員には外部

	<p>のキャリアパス研修の受講を勧めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年 11 月に全職員に対して「コスモスを満開にするために」というタイトルのアンケート調査を行い、各職員は「保育士自己チェックシート」にて達成度の確認を行っています。 ・園内研修では、関係するテーマであれば、非常勤職員にも出席するように声かけをしています。外部研修を受講した職員は、必ず園内研修の講師を務め、内容を共有し、必要な内容であれば園の保育に取り入れています。園長、主任は受講した職員の研修報告書を読み、意義のある研修か否かを判断しています。 ・非常勤職員にも保育に必要な項目についてのマニュアルのコピーを手渡し、入社時には説明を行っています。遅番は可能な限り、常勤職員と非常勤職員の組み合わせになるように配慮してシフトを組んでいます。非常勤職員も必要なテーマの園内研修には出席するようにしており、また、ケース会議にも参加して、資質の向上に努めています。非常勤職員の指導責任者は主任で、休憩時や保育中でも積極的な声かけを行ってコミュニケーションをとっています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は毎年 1 回個人面談を行い、「自己評価表」を提出しています。園では全職員の「自己評価表」の結果のまとめを、保育園の自己評価と位置づけ、課題を抽出しています。 ・厚木市の園長会議などで得られた、地域の他の保育園での工夫・改善した良いサービス事例などがあれば園に持ち帰り、職員会議などで取り上げています。 ・今年度、厚木市の療育相談センター「まめの木」から講師を招いて、発達に関する出張講座を園内で持ちました。 ・保育園運営アプリ「園-sien」の中の書式を利用して、振り返りなども記録しています。週案、月案などの指導計画の振り返りは、計画で意図した保育の狙いと関連付けて行っています。子どもの様子からの評価・振り返りでは、達成度を見るばかりではなく、子どもの育ちや意欲とも勘案して評価しています。職員の振り返りは、年度初めに立てた自己研鑽目標に照らし合わせて行われ、評価結果により次年度の研鑽目標に結び付けています。 ・年 1 回の個人面談の際に、職員は「自己評価票」を提出し、園長と内容について話し合っています。週案、月案の「振り返り」では、乳児ケース会議、幼児ケース会議の中で複数の職員の意見を聞きながら見直しを行っています。 ・年に 1 度行うアンケート「コスモスを満開にするために」、及び、同時に提出する「保育士自己評価表」は、園の理念、保育方針に沿って行っています。 ・これらの園独自の自己評価結果は、保護者には公表していません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園のより一層の改革・改善には、保護者の協力も必須です。「自己評価結果」などから浮かび上がった「課題」「対応策」など、保護者への説明が期待されます。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園ではキャリアパスに応じた人材育成計画があり、全職員に周知しています。また、「人事考課シート」を策定して、毎年度「人事査定」を行っています。 ・年 1 度の個人面談では各職員の意向・意見を聞いており、得られた意見などを幹部職員会議などで検討し、改善に結びつけています。 ・設置法人の経営姿勢として「誉めて高めてモチベーション向上」を掲げており、個人面談では、個々の職員の評価できる点のみを本人に開示しています。このことにより、自然とマイナス面は消滅していきます。 ・保護者からの相談は状況に応じては自主的に判断するように指導しており、結果は必ず園長に報告するようにしています。 ・園長は職員の休憩時のコミュニケーションを大切にしており、業務に関する改善課題などの意見を聞き出しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員は入社時の新人教育において、設置法人の理念、保育方針に加えて、子どもの保育に関する「職業倫理」「コンプライアンス」「法令遵守」などについて学んでいます。 ・園の経営、運営状況等の情報は、ホームページに積極的に公開されていません。 ・厚木市園長会議などで得られた、他保育園での不正、不適切な事案などについては、園長は園に持ち帰り、幹部職員会議、職員会議などで検討しています。 ・全職員には、職務内容も明示した「業務担当一覧表」を配付しています。 ・園と契約している社会保険労務士の月1度の帳簿類チェックを内部監査と位置付けています。また、園では、神奈川県、厚木市のそれぞれから外部監査を受けていますが、今のところ指摘事項はありません。 ・子どもの製作には廃材などを利用するようにし、絵を描く画用紙には、コピー後の裏紙を用いるなど、省資源化に協力しています。花壇の整備などを通して園内緑化を進めており、また、電球をすべてLED化するなど省電力にも取り組んでいます。園では省資源化を進めるべく、牛乳パック、ラップの芯などの廃材の提供を「園だより」で保護者に呼びかけており、集まった廃材は、子どもたちの製作材料として使用しています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなどを利用して、園の透明な経営をPRする意味で、経営、運営状況等の情報公表が望まれます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保育理念、保育方針は保育園運営アプリ「園-sien」に入力・保存されており、全職員がいつでも確認することができます。 ・園を「認定保育所」から「認可保育園」に変えたときには、クラス懇談会を何回も開催し、保護者との意見交換を行いました。クラス懇談会では、出席した保護者に対し、丁寧に説明を行い、賛同を得ることに成功しました。設置法人の代表者、事務部門の協力を得ながら、保育運営の変更を進めてきました。 ・主任育成研修は厚木市の育成プログラムにより、厚木市研修を利用しています。主任の役割は職員の業務や個人的状況までを把握し、能力に合わせた種々の助言を行い、職員の状況に適応する最適なシフトを組む役割を担っています。主任は、シフトを組むにあたり、職員一人一人の精神的、肉体的な状況を把握して、最適なシフト作成に努めています。
<p>VI-3 効率的な運営 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の社長や園長は、保育運営に影響のある情報を収集・分析し、幹部職員会議などで内容を検討しています。厚木市の園長会議などで得られた、園運営にとって重要な事柄については、直ちに園に持ち帰り、幹部職員を招集し、本園ではどう進めるべきか対応策を話し合っています。 ・幹部職員会議で打ち出された重要改善課題は、職員会議に掛け、議論の上、全職員により実行計画を打ち出しています。滋賀県大津で起きた交差点での大事故なども、本園でも散歩コースの見直しを行い、職員に周知しています。 ・5年後の長期計画を①「自分で考え、行動できる」を目指す保育、②人材育成・保育の質の向上、③保護者支援としています。 ・3年後までの中期計画は、上記長期計画①～③に対して、各々3～4つの具体的なテーマを掲げ、本年度の事業計画に結びつけています。 ・本年度の事業計画では、中期計画で打ち出した具体的な行動計画を各々のテーマをさらに具体的に1～4つの具体的な行動計画に分割し、各々のテーマについて実施結果・評価反省を行う形にしています。 ・設置法人社長および幹部会議で、次代の保育園運営に関し、外部の専門家の意見などを取り入れながら、新しいプロセス、仕組みを検討しています。

利用者家族アンケート

事業所名：保育園コスモス

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数35名、全保護者30家族を対象とし、回答30家族からあり、回収率は100%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は100%(満足70%、どちらかといえば満足30%)と高い評価を得ており、否定的な回答は0%(どちらかといえば不満0%、不満0%)でした。

◇ 比較的満足度の高い項目(満足、どちらかといえば満足の合計)

1)100%

- ・入園時の対応(見学の受け入れ、入園前の情報提供、一日の過ごし方説明、費用や決まりの説明)
- ・年間の保育や行事計画の説明
- ・遊び(活動や遊び、戸外遊び、玩具や教材、自然や地域など園外活動、)
- ・生活(基本的な生活習慣、昼寝や休憩、体調への気配り)
- ・保護者との連携(園の様子の情報提供、相談事への対応)
- ・職員の対応(お子さんが大切にされている、保育園生活を楽しんでいる、アレルギーなどへの対応、話しやすい雰囲気・態度、意見や要望への対応)

2)95%~99%

- ・入園前説明(園目標や方針)
- ・遊び(友だちや保育者との関わり、健康づくり)
- ・生活(給食を楽しんでいる)
- ・安全対策(感染症の情報提供)
- ・保護者との連携(行事開催日や時間帯への配慮、お子さんに関する重要連絡体制、柔軟な対応)

3)90~94%

- ・入園前の面接、年間保育や行事に保護者意見反映、給食内容、ケガ説明と対応
- 遊具設備、落ち着いて過ごす雰囲気、保護者面談の機会、送迎時の情報交換

◇ 比較的満足度の低い項目(どちらかといえば不満、不満の合計)

1) 33%

- ・外部からの不審者侵入対策

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	10	57	17	13	3



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	80	20	0	0	0

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		見学の受け入れについては	70	30	0	0	0
		その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	70	30	0	0	0	0	
		その他:					
園の目標や方針についての説明には	57	40	3	0	0	0	
		その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	67	27	3	0	3	0	
		その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	67	33	0	0	0	0	
		その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	67	33	0	0	0	0	
		その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		年間の保育や行事についての説明には	53	47	0	0	0
		その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	33	57	3	0	7	0	
		その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	%	70	30	0	0	0	0
		その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	%	80	20	0	0	0	0
		その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	%	70	30	0	0	0	0
		その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	%	90	10	0	0	0	0
		その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	%	77	20	0	0	3	0
		その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	%	77	20	3	0	0	0
		その他:					

生活について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	%	20	70	0	0	10	0
		その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	%	70	27	0	0	3	0
		その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	%	83	17	0	0	0	0
		その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	%	60	40	0	0	0	0
		その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	%	67	17	3	0	13	0
		その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りに ついては	%	83	17	0	0	0	0
		その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	%	64	30	3	3	0	0
		その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	37	53	10	0	0	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	43	50	7	0	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	20	47	30	3	0	0
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	60	37	3	0	0	0
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	63	30	7	0	0	0
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	65	35	0	0	0	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	57	40	3	0	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	66	27	7	0	0	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	60	37	3	0	0	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	70	30	0	0	0	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	84	13	3	0	0	0
	その他:					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	77	23	0	0	0	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	80	20	0	0	0	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	78	22	0	0	0	0
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	77	23	0	0	0	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	66	34	0	0	0	0
	その他:						

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	%	70	30	0	0	0

観察方式による利用者本人調査

令和2年1月15日、17日

事業所名：保育園コスモス

【0歳児】

<園庭遊び>

園庭には、よちよち歩いている子どもや保育士にだっこしてもらっている子どもがいます。保育士は、飛行機を見つけ、空を指さして子どもの関心を引こうとしています。子どもも空を見上げています。保育士は、子どもの顔を見ながら「見えた？」と一緒に上を向いています。

<室内遊び>

食事が終わり、歯磨きをしてもらった子どもは、午睡までの間、おもちゃを出してもらい、遊んでいます。音の出るおもちゃや握りやすいおもちゃを持って歩いている子どもがいます。部屋の隅に一部をくりぬいた模様のついた段ボール製の箱が置いてあり、子どもがのぞいています。そのうち中に入り込んで隠れて遊んでいます。もう一方のボールが入った大き目の箱の中では子どもが、ボールを投げたり拾い上げて遊んでいます。子どもは保育士に見守られながら、それぞれに好きな遊びを楽しんでいます。

<排泄>

遊びの前後や食事前後に、子どもたちは保育士に抱かれてトイレに連れて行ってもらいます。敷物の上で寝ながらおむつを交換してもらっています。

<食事>

子どもたちは、全員、離乳食を食べています。園庭遊びから戻った子どもたちは、順番に2人ずつ保育士に手伝ってもらい、手洗いをします。保育士にだっこしてもらって順番を待つ子どももいます。手洗いが終わると、「ご飯食べようね」と保育士が声をかけ、一人ずつ椅子に座らせてもらい、給食を待ちます。全員揃ったところで、給食の歌を歌います。まだ歌えない子どもも、保育士の歌に合わせて笑顔で体をゆすっています。歌が終わると全員で「いただきます」をして、食事が始まります。子ども2人に1人の保育士がついて、食事の介助をしています。スプーンに一口おかずを載せてもらって、口に入れてもらったり、自分で食べています。保育士は、子どもを援助しながら「スプーンを使って上手に食べてね、おいしい？」などと、声をかけています。

【1歳児】

＜園庭遊び＞

園庭には、大型すべり台を設置し、タイヤや子ども用自転車等を用意しています。子どもたちはかくれんぼを始めました。鬼になった子どもは保育士と一緒にいます。10数える間にみんなですべり台の下に隠れます。保育士は鬼になった子どもを抱きながら、「もういいかい?」「どこにいるのかな?」と言って、すべり台のほうに行きます。隠れている子どもから「おにだー」という歓声が上がります。かくれんぼの仲間に入らないで、タイヤの中に座り、ここにこ笑いながら出たり入ったりして楽しんでいる子どももいます。

＜排泄＞

園庭で、「おしっこ、おしっこ」といっている子どもがいます。保育士は、ほかの子どもにも、「おしっこ大丈夫?」「おしっこ行きましょう」と声をかけ、子どもと一緒にトイレに行きます。「あ〜」という声を発した子どもを見て、「出ちゃった?」と確かめ、さりげなく新しいパンツを用意しています。

園庭から戻ってきた子どもは、自分でパンツを脱いだり、保育士に手伝ってもらいながらトイレで排泄し、保育士が敷物の上に置いたパンツとズボンを自分ではこうと頑張っています。

＜食事＞

食事前のうがいを忘れた子どもに、保育士は「バイキンがいる、たいへんだ! うがいしてきて」と、声をかけます。子どもたちは2か所のテーブルに分かれ、みんな揃ったところで、食事の歌を歌い「いただきます」をして、食事が始まります。保育士は、今日の献立を発表します。畑で取れたブロッコリーがサラダになって出てきます。言葉がまだ出ないようのみかんを指さしている子どもに、「おいしい?」と聞くと、子どもは喜んで手をたたいています。保育士は、豚汁を両手で持てるよう手を添え「手で持ってゴクゴクしてください」と伝えています。食べさせてもらっている子どももいます。途中で主任が見回りに来て、保育士に、「畑でとれたブロッコリーの食べ具合はどう?」と聞いています。

【2歳児】

＜朝の園庭遊び＞

園庭の人工芝の上を全員、三輪車を持ち出して、自分でこいで全速力で走り回ります。みんな三輪車乗りが上手です。先生がいくつかのパーテーションを園庭の真ん中に置くと、これを競輪場のトラックや障害物に見立ててか、1人ずつ器用に間をすり抜けて走り回ります。

園庭には鉄棒や大型滑り台にクッションマットを組み合わせたアスレチック台、大きなタイヤが2つあり、子どもたちは三輪車が飽きると好きな遊具で遊びます。先生がフラフープを持ち出すと、子どもたちは我先に集まり、先生の

やるように腰に巻いて回そうとしますが、まだできません。輪を投げて回転させるのも難しいようでした。

<畑まで散歩>

園から歩いて 5 分程のところに畑を借りて、野菜を育てています。散歩を兼ねて大根の収穫に行きます。子どもたちは、2 人ずつ保育士と手をつなぎ、出かけます。調査員と手をつないでくれた子どもがいて、保育士の間に入り、2 人の子どもと一緒に歩いていきました。「ファームコスモス」に着くと、収穫後のブロッコリーの株がありました。保育士が「今日の給食に出すのに、昨日収穫しました」と、説明しています。畝に大根が並んでいます。子どもたち全員が家に持ち帰る分と、給食で調理してもらうほどの分量があります。まだ持ち帰っていない子どもの 3 人分を今日抜く予定です。「○●チャンが持って帰る大きな大根を探してあげて」と保育士が声をかけると、子どもたちは畝に入って、大根をのぞき込んでいます。子どもが指さしている大根を見て、保育士は「この大根、お顔出ているね、いいの見つけたね」などと話しています。持ち返る大根が決まると、「抜きたい人」と言うと、数人の子どもから、「はい」と元気に手が上がります。

<排泄>

活動の切れ目で子どもたちに排泄の声かけをしています。食事前には、自分でズボンとパンツをおろし、便座に座っています。決められた敷物の上で 1 人ずつパンツとズボンをはいています。保育士は、「上手にできたね」と声をかけたり、上手にはけるよう手伝っています。おもらした子どもは他の子どもと変わらずに目立つことなく保育士が対応しています。

【2、3 歳児】

<園周辺の散歩>

3 歳児は生活発表会の練習の後、それまで園庭で自由遊びをやっていた 2 歳児と合流して、園周辺の散歩に出ます。今日は特にお目当ての公園に行くわけもなく、園周辺の畑の中の道を大きく迂回しながら 2 km くらい歩いてきます。通りすがりの地元の人にも挨拶をし、田舎道ではありますが車にも気を付けながら、2 人ずつ手をつないで安全に歩きます。園に帰ると防寒具を脱ぎ、トイレと手洗いをします。

ここで 2 歳児、3 歳児は別々に、子どもたちは昼食用に用意されていたテーブルに椅子を運び、自分のリュックからコップに入ったスプーン、フォーク、箸などを取り出してテーブルに載せます。リュックは椅子の背もたれに自分で掛けます。

<食事>

椅子に座り、足が床につかない子は先生に申告し、足置き台を別に出しても

らいます。調理の先生がスープ、みかんをワゴンに乗せて運んできます。次に担当する保育士が、ワンプレートの上に、マイタケ炊き込みご飯茶碗を乗せて配膳します。プレートの上にはスープカップ、みかんも載せます。プレートにはあらかじめ、園児が畑で栽培したブロッコリーの塩炒めとニンジン、トーモロコシのサラダが乗せられています。保育士の音頭で「イタダキマース」でスタートしました。

【3～5 歳児】

<生活発表会練習>

3 歳児 6 人、4 歳児 5 人、5 歳児 6 人の総勢 15 人にて生活発表会の劇の練習をします。異年齢の縦割りでは今日はリーダー 2 人前に出て舞台監督です。残りのメンバーで縦割り 4 チームを作り、チームごとに順番に前に出て、セリフを教わり、覚えながら声に出します。グリとグラというネズミの名前の劇だそうです。ピアノの伴奏で踊りながら、野菜の名前などを入れたセリフをしゃべります。

生活発表会のスローガンの「一人一人が主役に！」を打ち出して、全員参加で劇が進んでいました。

「愛情たっぷりのコトコトスープの出来上がり！！」という「お料理の踊り」を全員で踊った後に、一人一人が料理の感想を言う番です。子どもたちは順番に「コトコトスープ美味しいね」「お野菜がおいしいね」「スープ美味しいね」「みんなで作ったお野菜美味しいね」など自分の言葉で感想を述べ、発表会でも舞台の上で演じるようです。

<異年齢合同、朝の散歩>

今日は「お散歩マップ」のなかでも一番遠い、片道徒歩 25 分の「見晴らし公園」に出発です。年長児は年少の子の手を取り、二列で歩きます。歩道を歩きますが車の走る車道側は年長児が歩き、ルールが決まっているようです。住宅のフェンスに並んで飾られている雪だるまの人形には全員興味津々でした。25 分坂道を登って、公園につきました。ジャングルジム、ブランコ、滑り台など、保育士は子どもたちに、どう、何を注意するか聞きます。子どもたちは、慣れているのかスラスラと答えていました。

保育士の 1 人が先に、公園内に危険がないか確認します。運動途中でもお茶を飲むようにとの注意の後、自由遊びです。公園内もかなりの高低差がありますが、子どもたちは鬼ごっこなども自発的に行って走り回ります。

子どものトイレは、公園近所の児童館を使わせてもらっているようです。保育士も入った鬼ごっこは、その日特に強かった北風も何するものぞと、走り回っていました。30 分くらいの運動で、今度は公園周辺の探検です。公園の一番裾野からは公園のてっぺんはるか崖の上です。保育士の注意事項を聞いた後、子どもたちは果敢にもすごい傾斜の土崖を登り詰め、全員頂上に到着しま

した。慣れている運動のようです。帰園はすべて下り坂で、子どもたちの歩きのペースもかなり早いです。すれ違う地域の人たちへ手を振ってご挨拶します。

【3 歳児】

<食事>

調理の先生がワゴンで、スープ入りカップ、みかんを運んできます。今度は担任の先生が、各自にワンプレートを配膳し、その上に炊き込みご飯入りの茶碗とスープ入りカップ、みかんを乗せます。ワンプレートにはすでにブロッコリーの塩炒めとニンジン、トーマロコシのサラダが盛りつけてありました。ブロッコリーは園の近隣で借りている畑で、子どもたちが育て、収穫したものです。当番さんの音頭で給食の唄を歌い、「いただきまーす」で楽しく食事を開始しました。

【4、5 歳児】

<午前中の散歩>

園より歩いて 3 分の所に、大型滑り台や大型ブランコがある手ごろな公園があります。今日は生活発表会の練習などプログラムが集中しているために、昼食前の手ごろな散歩先として、この「北ヶ谷第二公園」を選びました。あまり広くない公園敷地ですが、子どもたちは元気に走り回り滑り降りて、自由遊びを楽しんでいました。

<食事>

公園から帰園すると手洗いとトイレタイムです。すでに用意されていたテーブルに各自椅子を運び、テーブルには各自、歯ブラシ、箸、スプーン類がセットで入っているカップをリュックから持ち出し、前に置きます。リュックは背もたれにかけます。

お当番さんが、園児一人一人に、炊き込みご飯、スープ、サラダ、みかんを乗せたワンプレートを配膳します。調理の先生が本日のメニューを紹介し、当番さんが「いただきまーす」をリードします。畑で収穫したブロッコリーが大人気です。

<午睡前>

保育士の絵本読み聞かせです。全員床に座り、神妙に聞き入ります。次に保育士の「あっち向いてホイ！」のゲームで、勝った子から布団に入るルールで、子どもたちの眠ろうとする気を誘った、工夫がありました。

事業者コメント

保育園コスモス

受審の動機

当園は認可保育所として5年目を経過しました。自園の評価と今後の保育体制及び運営を如何に展開していくかを考慮中でした。そんな折、福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会を知り、参加、拝聴した結果、是非受けるべきことが必要と判断をしました。

受審した結果

職員の意識の高まりにより、度々の意見交換等の場が持たれ、保育士自身の自己評価、保護者との関わり、地域との関わり等のディスカッションが自発的に行われたことが大変良かったことと思います。

保護者はおおよそ当園に対して好感を持ってくださっていることを知り、胸をなで下ろしたところですが、防犯等の問題があり私どもが気づかなかった点の指摘をいただき大いに参考になりました。

また、経営側の私どもにとっても現状の立ち位置を知り、今後の保育展開に大いに方向性を見つけることが出来ましたことは当初考えていた以上の成果とっております。

今後の方針

これらいただきました結果は貴重で大変重く受けとめております。改善すべき点は改善し、良き点は自身をもって引き続き継続してゆく所存です。

最後になりましたがご協力いただきました保護者の皆様、丁寧にご尽力いただいたナルク福祉サービス並びに評価委員の皆様に対し心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。